

柿野 成美

## 国内外の消費者教育教材に触れ、 新しい実践を創造しよう

2021年3月末に、全国の教員、消費者教育コーディネーターを対象として消費者教育実践セミナー「消費者教育への新たなアプローチ！～国内外の最新教材を活用しよう～」を実施しました。国内の教材については、当センターが1997年から実施している消費者教育教材資料表彰で優秀賞を受賞した教材を紹介すると共に、独自に開発した小中学生向けの教材の実践事例報告等を行いました。

消費者教育教材資料表彰は、学校で活用できる優れた教材を選出し、広報することを通じて、学校での実践に寄与することを目的とした制度です。毎年20点程度の教材が優秀賞を受賞し、選出された教材は、教員の活用による評価をもとに、選考委員会において翌年には内閣府特命担当大臣賞等が選出されます。今年からは消費者庁長官賞も新たに加わり、教材を活用する現場への支援と同時に、教材制作者に対するインセンティブを高めています。

本セミナーでは、海外教材としてPartnership for Education and Research about Responsible Living (PERL) が開発した教材に注目しました。PERLは、消費者市

民社会概念の導入に大きな影響を与えた Consumer Citizenship Network (CCN) から発展した教育者・研究者のネットワークです。PERLは持続可能なライフスタイルのための教育に関するユネスコ議長事業の一部であり、消費者問題、持続可能なライフスタイルといったトピックに関する教育ツールキットを作成しています。今回はその中から「Food for thought」(思考の糧)という教材を選び、日本語訳された教材をもとに日本国内でのアダプテーションと、国内外の教材とのパッケージ化という観点からグルー



プに分かれて議論を行いました。

国内外の教材に多角的に触れることができた今回のセミナーでは、参加者は普段の実践に新しい視点を持つことができ、多くの刺激を得たといった感想が寄せられました。海外で作成された消費者教育教材を活用することで、消費者教育そのものの見方考え方に変化があるかもしれません。みなさんも是非、国内外の優れた教材に触れて、新しい実践を創造していきましょう。

### ●(公財)消費者教育支援センター オリジナル教材

<https://www.consumer-education.jp/activity/publicity.html>

### ●消費者教育教材資料表彰

<https://www.consumer-education.jp/activity/contest.html>

### ●PERL作成の教材

<https://eng.inn.no/research/research-centres/centre-for-collaborative-learning-for-sustainable-development-ccl/publications/teaching-materials-resources/active-learning-methodology-series>